

2018年6月1日の改正様式と記載内容（消防予第373号）

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総 合 点 検								
接 地 抵 抗	種 類	Ω						
絶 縁 抵 抗	種 類	MΩ						
自家発電装置の接続部								
始 動 装 置	※始動用蓄電池設備							
	始動用空気圧縮設備		L					
	始 動 補 助 装 置							
保 護 装 置								
※※ 運 転 性 能	負 荷 運 転		kW	←	左記（kW）に記載した数値の測定内容を別紙データ表として添付するか、又は具体的な測定方法を下記の備考欄に明記する			
	内 部 観 察 等							
切 替 性 能	運 転 切 替 性 能							
	※蓄電池切替性能							
	始動用燃料切替性能							
備 考	<p>電気主任技術者 氏名及び番号 負荷運転又は内部観察等の最終実施年月（ 年 月）</p> <p>① 負荷試験機による測定方法は、発電機容量の30%以上の負荷を、負荷試験機で必要時間投入し、エンジン及び発電機の稼働状態を確認すると共に、電流値測定により、メーカー指定の正常値確認を行う。</p> <p>② 実負荷による測定方法は、発電機に接続されている全ての当該負荷を同時作動させた際の合計負荷で、発電機の稼働状態確認と同時に電流値測定による正常値の確認を行う。</p> <p style="color: red;">但し、メーカー指定値の確認は出来ない場合がある</p> <p style="text-align: center;">電流値の正常確認方法（三相発電機の場合）</p> $\text{電流値 (A)} = \frac{\text{出力 (W)}}{\text{電圧 (V)} \times \sqrt{3}} \times 30\%$							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
 - 7 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。